

[第 147 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

令和 6年 2月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 令和 6 年 3 月 2 日 (土) 15時～17 時
- 場 所 近江聖人中江藤樹記念館(高島市安曇川町上小川69)
- ☎ 0740-32-0330 (いつもの場所と違いますのでご注意ください)
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
- テキスト 中江藤樹著・加藤盛一校註『鑑草』(岩波書店)p.309～(用意します)
- 塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)

2024年2月3日(土)、安曇川公民館で第146回藤樹人間学塾を開きました。今回は高槻、彦根からを含む初参加者4名、京都、大津からの参加者を入れて12名でした。



■ テキスト 中江藤樹著『鑑草』の余録 春風

■ あらすじ

(1)～(9)略。(10)彭矩は生まれつき善を好み、煩惱や苦しみに耐え、慈悲深く人を救い助けること多数であった。これは明德が明らかなることによる。37歳まで子がなかったが西岳に参って祈ると男子3人を授かった。ある時兵乱が起こって地域では10人に9人は死んだが、彭矩の家族は全員助かった。……

■ 配布資料

(1)「まなざし 465号」、(2)「全孝図」と「致良知」、(3)「敬、怠に勝てば吉なり」(致知)、(4)野崎治子「山登りではなく、川下りの生き方」(致知)、(5)横田南嶺「以心伝心」(致知)、(6)「すべての人が兄弟姉妹」(歎異抄)、他

■ 今日のポイント

- ・ 明德が明らかなる人、孝行の人、悌(兄弟の情誼が細やかな)の人、慈悲深い人、忍辱の人は、天災(地震、風水害等)や人災(戦争、盗賊、火事、水難等)が起こってもそこから遁れられ、幸福が訪れる。
- ・ 人間の心は放っておくとすぐに雑草が生える。その心を清潔、新鮮に保っていくためには、よき人、よき教え、よき言葉に出会うことが不可欠。
- ・ 生きとし生けるものは皆仏の心を持っている。この教えが禅の根幹となっている。ただ煩惱に覆われていてその仏の心が見えず、知ることができないでいるだけだ。→これは全孝の教えに通じる。

■ フリートークキング

- ・ 「今日、2回目の参加だが、致良知の教えが心に響いた」
 - ・ 「初めて参加し、長く生きるより深く生きるという言葉が響いた。人間関係を大切にしたい」
 - ・ 「『鑑草』を藤樹書院で話すことがあるが、こういう場で学ぶことも大事だと思った」
- 他、いろいろなご意見をいただきました。

学ぶは愉し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。参加費は無料です。